

学校番号	8	学校名	沼津特別支援学校伊豆田方分校	校長	若杉 友美
------	---	-----	----------------	----	-------

1 目指す学校像

(1) 教育目標

- 共に育てる 自立と輝き** ～子どもの能力を最大限伸ばし、個々のよりよい自立と輝きを支援する～
- ・学校、保護者、地域の方々と共に、さらに生徒同士、生徒が自分自身を、育て、成長すること
 - ・生徒一人一人がそれぞれのステージでできることを増やしていくこと、人や社会との関わりが広がること
 - ・自分の良いところを伸ばし、他者から認められ、自信をもって生きる姿、生きる力を高めること

(2) 目標具現化の柱

- ア 人権尊重の理念に基づいた、安全に安心して学習できる学校 (安全)
- イ 生徒の強みや持ち味を理解し、夢に近づくための指導及び支援ができる学校 (専門)
- ウ 地域や関係諸機関等との確かなつながりに基づいた、共生社会の実現に貢献する学校(連携)
- エ アサーティブに伝えあい、学びあい、チームとしてやりがいを持てる学校 (チーム)

2 本年度の取組 (重点目標はゴシック体で記載) *「業務改善」についても記入する。

	取組目標	達成方法 (取組手段)	成果目標	担当部署
安全	生徒の人権を尊重した指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の職員人権目標の周知と実行と振り返り ・「さん」付け、挨拶、「ありがとう」、思考を促す言葉かけ等の励行 ・自立活動の「流れ図」を用いた生徒の実態把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての職員や生徒が、互いの良い点や苦手な点を認め、寄り添う姿勢や称賛の言葉を用いて関わっている。 ・生徒自身が自分の良い点や苦手な点に気付き、向き合いながら主体的に活動している。 	学部 学年 教務・自立 生徒指導
	誰もが安全安心に通える体制強化と行動力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に学習に取り組むことができる教材教具備品等の整備 ・年度初めや学期途中に定期的にマニュアルを確認する機会の設定 ・地域を知る防災学習の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・校内の教育環境が、生徒の主体的な行動に結びつくように整理されている。 ・職員・生徒・保護者が危機管理マニュアルに沿った行動をとることができる。 	学部 学年 研修 教科部会 教務・情報 保体・防災
専門	生徒自身が自分の強みを生かし主体的に活動する力を育む指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自立活動の目標に自ら向き合い、取り組むことができる指導内容と方法の設定及び共有 ・専門家を招聘した自立活動の充実 ・生徒が自分の強みを生かし、自ら課題に気付き向き合いながら取り組む授業研究の実施 ・研修に基づく生成 AI を用いた個別の指導計画の作成と活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自身が自分の強みや課題に気付き、生活の中で活かしている。 ・職業・家庭科等の学習場面において、生徒が自分自身の思いで、自分の強みを活かし学習に取り組んでいる。 	学部 学年 教務・自立 研修 作業班 教務・情報 進路・地連
	個に応じたつながりのある支援と指導の実現と充実	<ul style="list-style-type: none"> ・働く、暮らす、楽しむの視点を重視した個に応じた進路指導の職員研修の充実 ・各学年の段階に応じた職場実習や進路指導の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が、勤労観等の社会自立に向けた社会人の生活について理解を進めている。 ・保護者が、進路選択の重要性や職場実習の価値を重視し、協働している。 	学部 学年 作業班 進路・地域
連携	関係諸機関とのつながりを大切にしたい切れ目のない支援と指導	<ul style="list-style-type: none"> ・出身中学校、居住地区行政、福祉、医療、実習先、進路先など関係機関との連携 ・生徒の卒業後の豊かな社会生活に向けて段階的な保護者への情報提供と情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が生徒や保護者のニーズを把握し適切に面談や関係者会議を実施している。 ・保護者が、生活安定や地域安全の価値を重視し、学校と連携している。 	学部 学年 生徒指導 進路・地連
	生徒が地域でよりよく生きていくための共生・共育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・田農や地域との交流及び共同学習の実践とその成果の情報発信 ・田農職員との合同研修 ・学校運営協議会と職員の協議の場の設定による連動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が、田農や地域との交流及び共同学習に主体的に参加している。 ・学校運営協議会と教職員と連動した取組により、生徒が地域でより意欲的に活動している。 	学部 学年 作業班 教務・自立 研修
チーム	一人一人が持ち味を生かし、伝えあい、学びあい高めあうチームの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・各教職員の実践成果を定期的に伝え合う機会の設定 ・アサーション研修を通してチームの学び合いの充実 ・職場環境改善への対応 ・事務執行状況の情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が、お互いを認め合い、チームとしての成長を実感している。 ・職員が、本校事務室からの連絡を適時に確認し、連携している。 	学部・学年 作業班 保体課 事務担当